

持続可能な社会を目指す

名古屋市立大学の

地域貢献

2026 - 2027

大学の
地域貢献度調査

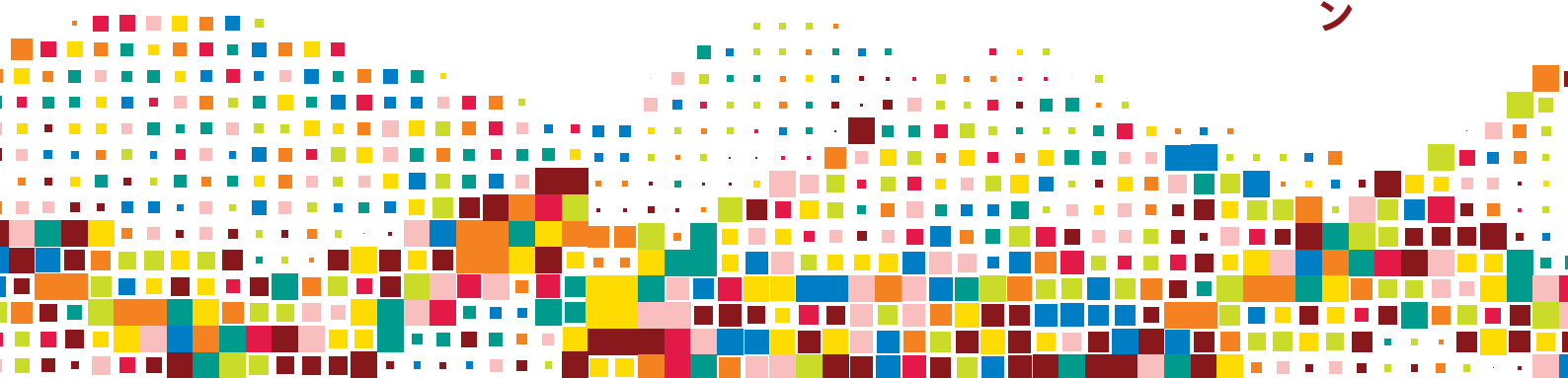
3回連続

日本一



NC 名古屋市立大学
NAGOYA
CITY
UNIVERSITY

名 伊 ず
市 チ っ
大 バ っ
学 バ っ
 ン と



ごあいさつ

名古屋市立大学は、従来より先端的な研究と細やかな教育に取り組んでいます。それと同時に、大学の重要な使命である「社会貢献」を果たすべく、平成26年度に「社会連携センター」を設置しました。

本センターでは、地域の皆さまからの連携事業や講師派遣に関するお問い合わせについて、「総合窓口」として連携内容のご提案や本学教員とのマッチング等を行うことで、本学の社会貢献活動の推進に努めております。

本学は7学部8研究科および6つの附属病院を有し、幅広い専門分野を活かした多様な社会貢献活動を展開しております。本パンフレットでは、教員・学生と行政・企業・地域の皆さまが連携して行う地域課題の解決への取り組みをはじめ、地域医療への貢献や生涯学習講座の提供など、本学の社会貢献活動をご紹介します。皆さまに、名市大が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携の縁としていただければ幸いです。

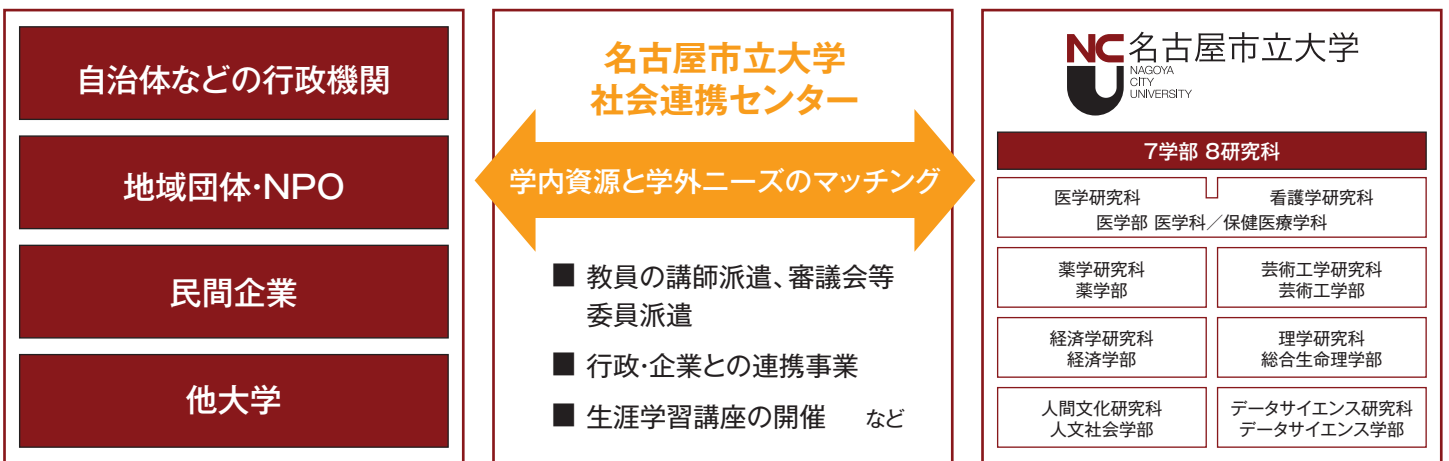
今後とも、地域の知の拠点として、一層努力してSDGsの達成や地域貢献に寄与できる活動を推進してまいります。引き続き皆さまからの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会連携センター長 吉永 和加

社会連携センター概要

大学には教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と連携し、社会貢献を行うことが求められています。社会連携センターは、総合窓口として皆さまの連携事業や講師派遣等のニーズをお伺いし、本学教員とのマッチングを行います。

「大学の力で地域の課題を解決したい」、「講座の講師をお願いしたい」などご希望があれば、お気軽にご相談ください。



本学の社会貢献に関する注目トピックをご紹介します!

PICK UP

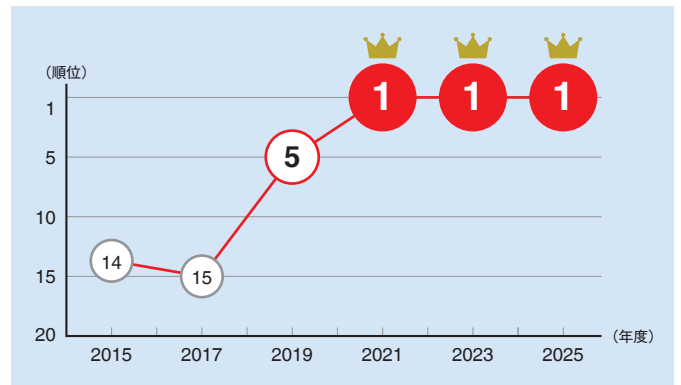
1 地域貢献度ランキング 3回連続日本一!

名古屋市立大学は、令和7年11月3日発行の『日経グローバル』519号で発表された「大学の地域貢献度調査2025」で2021・2023調査に続き、3回連続全国総合第1位にランクインしました。

このランキングは、日本経済新聞社が全国777校の国公立大学を対象に、大学が地域社会にどのような貢献をしているかを調べる「地域貢献度」の調査を行い、その回答(497大学から回答)をもとに、「大学の組織・制度」、「学生・社会人教育」、「企業・行政」、「大学経営・防災」の4つの分野の得点を合計して順位付けしたものです。

今回の結果は、7学部8研究科6附属病院を有する総合大学として、多様な研究成果を積極的に学外へ発信し、それらを地域社会の課題解決や発展につなげてきた積み重ねによるものと考えています。

これからも本学は幅広い専門性を活かし、地域の発展に努めてまいります。



2 医療系の研究科及び6つの附属病院を持つ大学として、地域医療を支えています!

■救急災害医療センターの開設

地域の命を、未来へつなぐ

救急医療機能の強化、災害医療機能の強化及び医療人を育成するための機能の強化を主軸とした新棟、「救急災害医療センター」が令和8年6月1日に開棟しました。救急災害医療センターは、地下1階、地上8階建て、延床面積27,600㎡を誇り、救急災害医療施設として日本最大級となります。

多職種協働を基盤に平時から有事まで地域の命を支える都市型救急災害医療センターを目指してまいります。



被災時でも診療機能を維持できる免震構造となっています。



被災患者の受け入れスペースを広くとれるよう、仮設ベッドの設置スペースと、医療ガス・非常電源設備を設けています。



ドクターヘリ・自衛隊ヘリの離着陸ができるヘリポートを備えています。

■地域医療シンポジウム

名古屋市と共催で、地域医療をテーマにしたシンポジウムを開催。

医療機関を取り巻く課題や地域医療のあり方などについて、講演やパネルディスカッションを行いました。



■名市大6病院合同・地域医療連携講演会

本学医学部附属病院群による講演会を開催。6つの附属病院の役割等を紹介し、地域の医療機関との連携を深めました。



■ジュニア野球選手への医療サポート

中日ドラゴンズと連携し、ジュニア世代の野球選手を対象にしたメディカルチェック(肩肘検診)を実施。スポーツ障害の早期発見による早期治療とストレッチ指導などにより障害予防に貢献しました。



行政との連携

名古屋市をはじめとする行政機関と連携し、豊かで魅力ある地域社会づくりを進めています。

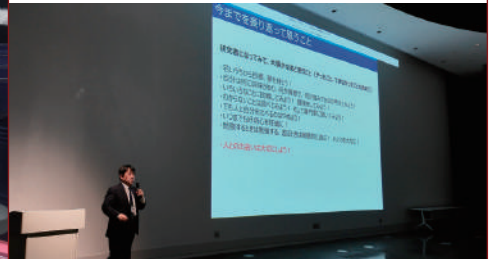
ナゴヤ小中学生STEAMラボ

名古屋市教育委員会と連携し、名古屋市の小中学生を対象に探究活動を支援する講座を開催。実験形式で、細菌やDNAについての理解・関心を深める機会を提供しました。



サイエンスパートナーシップイベント

名古屋市科学館と連携し、中高生を対象に「自然科学」の魅力を伝えるとともに、本学の最先端の研究や国内有数の規模を誇る科学館の魅力を紹介しました。



名古屋市保育施策の有効性検証

名古屋市子ども青少年局と連携し、アンケート調査の分析を実施。保育施策が子育ての負担軽減を実現しているか等を検証しました。研究成果は都市政策研究センター主催のシンポジウムにて発表するとともに、書籍として刊行されました。



「愛・地球博20周年記念行事」への出展

名古屋市主催の「De La MIRAI NAGOYA(デ・ラ・ミライ・ナゴヤ)」にブース出展。ワークショップを開催し、未来の地球のために自分にできることを来場者と一緒に考えました。



電子顕微鏡コンシェルジュ

名古屋市工業研究所と市内3大学が合同で、電子顕微鏡利用に関する各施設のもつ機器や技術に関するセミナーを開催。セミナー後は個別に企業の方と相談できる機会を設け、交流を深めました。



「しるばあライフ2025」への出展

名古屋市健康福祉局主催の「しるばあライフ2025」にブース出展。運動機能・認知機能・口腔機能などの測定会を実施し、検査結果のフィードバックとアドバイスを行いました。



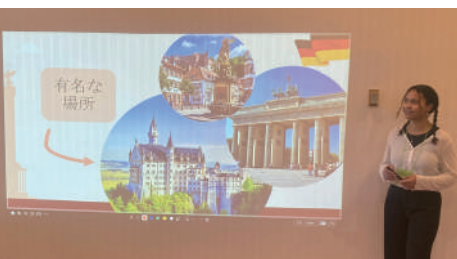
共創まちづくりシンポジウム

行政課題・地域課題の解決を目指す「共創まちづくり研究推進事業」においてシンポジウムを開催。本学研究者の講演、名古屋市職員と本学研究者のパネルディスカッション、研究課題50件のポスター展示を行いました。



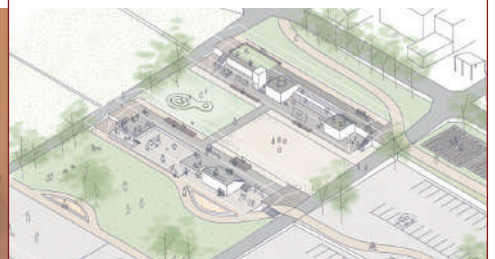
せかいのこぼでおはなし会

鶴舞中央図書館と連携し、本学の留学生による絵本読み聞かせのイベントを実施。絵本の朗読以外にも、世界各地の文化や母国語での動物の鳴き声などを紹介し、地域の子どもたちと交流を深めました。



多世代交流施設の研究与建築計画

愛知県幸田町と連携し、幸田学区における多世代交流施設・公民館・その他機能の複合施設の町民ワークショップと計画立案を行いました。

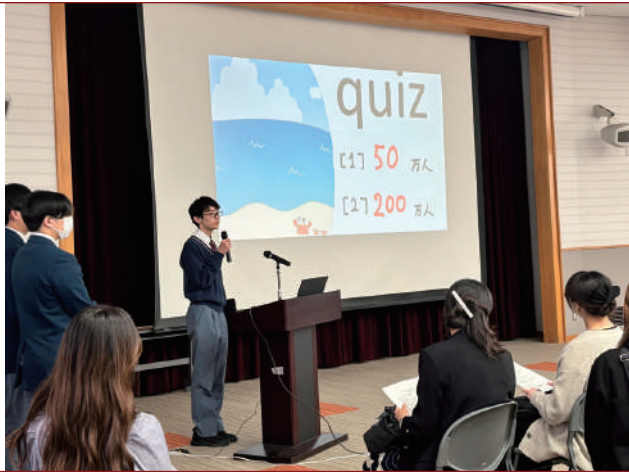


企業・地域住民・団体との連携

地域に根ざす公立大学として、企業・地域住民・団体と連携し、地域課題の解決等に取り組んでいます。

NCUサステナビリティ・プレゼンアワード

地域の高校生・大学生チームが持続可能な社会実現のために何ができるか、「問題提起」と「解決・改善策」を提案するプレゼンテーション大会を開催しました。



集え、未来の経営者!

株式会社あいち銀行・STATION Aiと連携し、小学生向けの学習イベントを開催。「アントレプレナーシップ(起業家精神)教育」をテーマとした体験型プログラムを行い、経営学への理解を深めました。



課題別リーダー研修会

名古屋市地域女性団体連絡協議会との連携で講座を開催。

医療・健康・化学・芸術など、多岐にわたる本学の研究成果を分かりやすく解説しました。



学生考案パンの発売

株式会社ヴィ・ド・フランスと連携し、「上前津駅の魅力づくり」を目的とした事業を平成30年度より継続して実施。令和7年度も学生考案の限定商品が発売されました。



薬用植物園市民公開講座

田辺通キャンパスにある薬用植物園を一般公開し、薬学研究科教員・学生の協力のもと、栽培している植物の特徴や利用方法について解説しました。



Go!ろGo!ろNAGOYAワークショップ

地域の幼児を対象とした体験型ワークショップを開催。子どもが関われる「余白」を残した遊びのデザインに関する実証研究も兼ねて、子どもたちや保護者の皆さまと交流しました。



名市大 認知症カフェ

鳴子団地にある鳴子CHCセンターにて認知症カフェを開催。認知症ご本人、ご家族、地域の方々が交流する場、認知症に関する困りごとなどを気軽に相談できる場を設けました。



蝶ヶ岳ボランティア診療所

長野県にある蝶ヶ岳にて、学生が診療活動をサポート。高山病予防についてのセミナーを行うなど安全登山の啓発活動を継続して行っています。



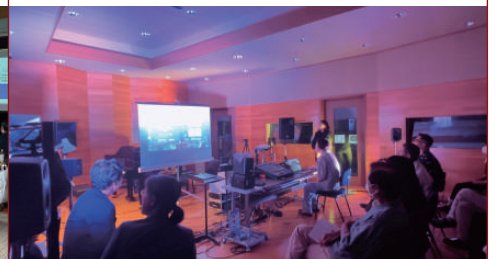
名古屋市立大学医療心理センター臨床心理相談室 公開講座

心理支援の手法を学ぶ機会として、こころの健康教育がテーマの公開講座を開催。ワークショップ形式で、心理教育プログラムを体験する機会を提供しました。



ミッドジャパ音の芸術祭2025

芸術表現の多様性と可能性を探究することを目的とした芸術祭を継続的に開催。令和7年度は「光・映像・音響の戯れと創作」をテーマに、ワークショップやコンサートを開催しました。



学生による課題解決演習

学生ならではの視点によるアイデア出しや実践的な調査を通じ、企業・自治体の課題解決に貢献しています。

自治体・企業と連携したPBL演習

名古屋市、岡崎市、株式会社あいち銀行、花王株式会社などの自治体・企業と連携した授業を行い、データサイエンス学部の学生がデータ分析を用いた課題解決に取り組みました。



クリックスグループとの産学連携プロジェクト

自動車販売のビジネスモデルをテーマに、学生が新たなアイデアを検討・提案しました。



医療系多職種連携教育:基礎

異なる専門職を目指す学生がグループで名古屋市内の地域や施設を担当し、地域住民との交流活動に参加しました。「地域包括ケア」の学びとともに、将来の多職種連携能力を育む基盤となっています。



『名市大ブックス』シリーズ

自宅で手軽に知識・教養を得たいという社会的ニーズに応えるため、令和2年10月に創刊した本学教員らが執筆する書籍シリーズ「名市大ブックス」を継続して出版しています。令和8年6月現在、第1～20巻及びベストセクション版上・下巻を出版し、高評を得ています。今後は、「総合大学としての強みを生かし教育・研究成果を、社会に分かりやすく発信することを目的とし、信頼性の高い知見を提供し、読者の行動変容につなげることを目指す」新シリーズの発刊を予定しています。



審議会等への教員派遣

本学の教員が自治体などの各種審議会等委員に就任し、政策形成等に寄与しています。

審議会等への就任事例

- なごや子ども・子育て支援協議会
- 名古屋市感染症予防協議会
- 愛知まちなみ建築賞選考委員会
- 内閣府食品安全委員会

審議会等委員就任人数(令和7年度延べ数)

289名

(内名古屋市役所:118名)

大学・病院施設 地域への提供

各種資格試験や学術講演会などの開催会場として、教室・ホール・会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。

また、学術研究を目的とした市民の方に対する所属図書館の閲覧・貸出も行っています。

令和7年度の実績

大学・病院施設の貸付件数	図書館の市民利用者数
962件	861名

施設貸し出し▶



図書館利用▶



生涯学習講座

一般向け講座

幅広い世代の方への生涯学習機会の提供を目的に、年間を通して講座を開催し、大学の知見を市民の皆さまに還元しています。



■名古屋市立大学 市民公開講座

8研究科及び6つの附属病院を持つ本学ならではの講座として、多彩なテーマを揃え、市民の皆さまに専門的な知識を分かりやすく解説しています。



■地域連携セミナー(看護学研究科主催)

保健医療福祉関連職種の方々や市民の皆さまと連携して取り組むべき社会的な問題をテーマに、講義を行っています。



■最新医学講座

オープンカレッジ

基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民の皆さまにわかりやすく解説しています。



■サイエンスカフェ

科学について市民と科学者が気軽に話し合う場です。通常の講演会などとは異なり、研究者が市民の輪の中に入って科学の話題を提供し、皆で考えながら科学への理解を深めます。



学びなおし講座

学校教育から離れた後も生涯にわたって学び続ける機会を提供し、キャリアアップや職場復帰のサポートをしています。



■医療・保健学びなおし講座

医療従事者の職場復帰促進及び最新の医療に対応できる人材育成などを目的とした社会人・専門職の方々へのリカレント(学びなおし)講座を開催しています。



■名古屋市立大学 薬学部卒業後教育講座



■東海薬剤師 生涯学習センター講座



■看護研究サポート



■看護研究のすすめ



■保育所・学校看護師プログラム



■なごや看護実践セミナー

看護実践の中で抱いた疑問や課題を解決したい方、実践に活かせる知識・技術を身に付けたい方に向け、複数のセミナーを開催しています。



小中高生向け講座

小・中・高校生を対象とした講義を行い、研究の面白さなどを伝え、進路について考える機会を提供しています。



■大学丸ごと研究室体験

夏季休業期間を利用し、研究室において市立高校生を受け入れ、各研究室の専門分野に関する大学水準の調査・研究などを体験してもらうプログラムです。



■NCUグレード・ スキップ・チャレンジ



■ひらめき☆ときめきサイエンス



■AIプログラミング教室



■高大連携 探究活動成果発表会



■名古屋市立高校&大学フェア



■教えて博士! なぜ?なに?ゼミナール

本学の教員が学校に出向き、自らの専門分野を子ども達に分かりやすく教えています。また、本学の留学生が小・中・高等学校へ出向き、子どもたちと遊びながら自国の文化を伝え、国際交流を図っています。







知の広場

本学主催の生涯学習講座は、生涯学習情報誌「知の広場」にて紹介しています。



本学との連携・講師派遣等を希望される方へ

社会連携センターでは、次のようなご相談を受け付けております。

<p>教員・学生の力を借りて地域課題を解決したい!</p> 	<p>市民の方を対象に、最新の研究成果を解説・講義してほしい!</p> 	<p>事業・会議にアドバイザーとして参画してほしい!</p> 	<p>自団体のイベントにブース出展してほしい!</p> 
---	---	---	---

などなど

連携内容・講演内容等が具体的に決まっていなくても、まずはお気軽に「社会連携センター」にご相談ください!相談内容に応じたご提案をさせていただきます。

「社会連携相談フォーム」にて
随時ご相談を受け付けております!

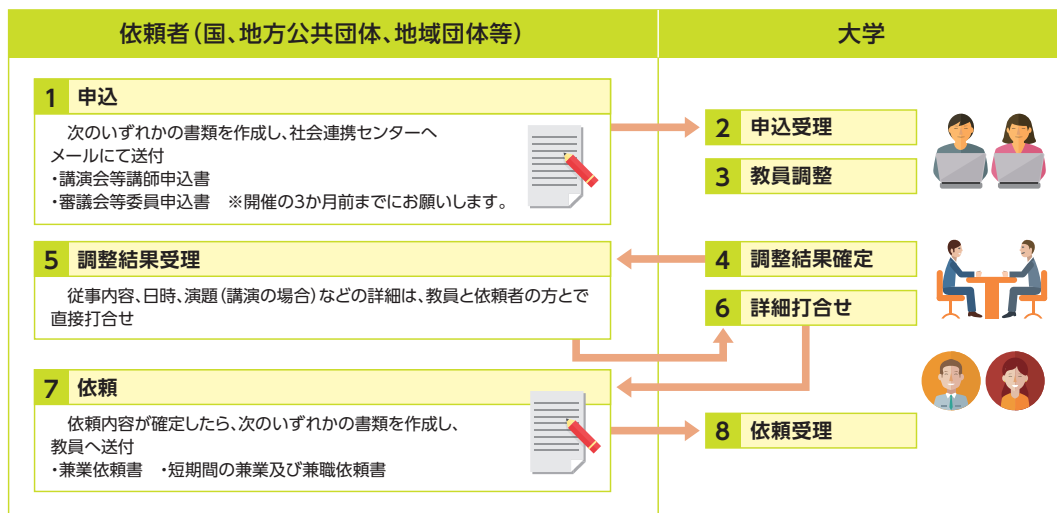


問い合わせ先 社会連携センター(企画課内)

TEL:052-853-8308 Mail:shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

※講演会の講師・審議会の委員など、既に依頼内容・依頼先の教員が決まっている場合は、下記「講演・審議会等への教員派遣 ご相談の流れ」に沿ってお申し込みください。

講演・審議会等への教員派遣 ご相談の流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。

※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。



WEB版地域連携事例集

本学が行った地域連携事例について、大学ウェブサイト上でも公開しております。
本パンフレットに載せきれなかったものも多くございますので、ぜひご覧ください!



発行
(令和8年6月)

名古屋市立大学 社会連携センター(企画課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 TEL:052-853-8308 Mail:shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

※このパンフレットは再生紙を使用しています。